

様式第二 許可申請書（土地の形質変更）

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

【記入例】

宅地造成及び特定盛土等規制法 第12条第1項 第30条第1項 の規定により、 許可を申請します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 前橋市長 殿 申請者 氏名 〇〇株式会社 代表取締役 前橋 太郎		※手数料欄			
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇株式会社 代表取締役 前橋 太郎 (群馬県前橋市〇〇町〇〇 取締役 前橋 次郎) (群馬県前橋市〇〇町〇〇 取締役 前橋 三郎)				
2 設計者住所氏名	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇設計株式会社 前橋 花子				
3 工事施行者住所氏名	群馬県前橋市〇〇町〇〇 〇〇建設株式会社 前橋 四郎				
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	群馬県前橋市〇〇町〇〇1番1 他〇〇筆(〇〇の一部) (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)、 (経度: 〇〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)				
5 土地の面積	〇〇〇.〇〇平方メートル				
6 工事着手前の土地利用状況	農地(畑)				
7 工事完了後の土地利用	宅地				
8 盛土のタイプ	平地盛土、腹付け盛土 ・谷埋め盛土				
9 土地の地形	溪流等への該当 有・無				
10 工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	〇〇〇.〇〇メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	〇〇〇.〇〇平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	〇〇〇.〇〇立法メートル		
		切土	〇〇〇.〇〇立方メートル		
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	現場打ちL型擁壁	1.5メートル	10.0メートル
		2	プレキャストL型擁壁	2.0メートル	20.0メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
				メートル	メートル
ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長	
	1	U型側溝	30センチメートル	50メートル	
	2	L型側溝	30センチ	20メートル	

				メートル	
	3	集水柵		50センチ メートル	3箇所
ト 崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護				
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	(例1) のり面保護工(種子吹付) (例2) 切土面については張芝、盛土面については筋芝 (例3) 崖とは反対方向に排水勾配を設定				
リ 工事中の危害防止のための措置	(例1) 工事中は、工事区域外周に仮囲いを設ける (例2) 排水施設を設け、土砂の区域外への流出を防止する (例3) 工事車両の出入口にガードマンを配置し、交通整理を実施する				
ヌ その他の措置	軟弱地盤については、地盤改良を行う(何も無い場合：なし)				
ル 工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
ヲ 工事完了予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
ワ 工程の概要	(例1) 別紙工程表のとおり (例2) 土工→擁壁工→排水工→雑工→整地				
11 その他必要な事項	(例1) 農地転用許可申請中 (例2) 再工ネ条例許可申請中				
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年月日				年月日	
第号				第号	
係員氏名				係員氏名	
〔注意〕					
1 ※印のある欄は記入しないでください。					
2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。					
3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。					
4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。					
5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。					
6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。					
7 8欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください(複数選択可)。					
8 9欄は、溪流等(令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。)への該当の有無のいずれかに○印を付してください。					
9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。					